

《第134回》 令和六年八月の作品

〈八月九日（金） 於・文京区民センター3E〉

みだれなき友の手紙や今朝の秋
（一江）

駅に向ふ男日傘の急ぎをり
（隆治）

観音の耳元過ぐる夏の風
（前歩）

姨捨の棚田を照らす月白し
（正佳）

球児らの泥んこ顔に玉の汗
（貴美）

訝して鎮守の杜の盆踊
（孝昭）

ふるさとにゐて恒例の盆準備
（奉男）

華やかに五輪開幕巴里の夏
（正雄）

大輪のカサブランカの香りかな
（平六）